

# NT

NISSEKI TOKYO

2014  
Summer

Vol.2

特集

**赤十字奉仕団**  
の足跡を訪ねて

# Contents

- 04-05 平成25年度 東京都支部 活動資金の使途報告
- 06-07 れっどくろす News & Topics
- 08 活動資金協力者(社)・団体のご紹介
- 09 いのちを救う赤十字の講習
- 10-13 **特集** 赤十字奉仕団の足跡を訪ねて
- 14-17 東京都内の赤十字施設紹介  
武蔵野赤十字病院  
大森赤十字病院  
葛飾赤十字産院  
東京都赤十字血液センター
- 18-19 -Cross Town- <sup>まいせん</sup> 大森～馬池洗

**日本赤十字社の使命**  
 わたしたちは、  
 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
 いかなる状況下でも、  
 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

編集部からのお知らせ

**今号のプレゼント**

NTに関するご意見・ご感想をお待ちしています。  
 お寄せいただいた方のうち、抽選で5名様に  
 (株)日赤サービス提供の今治産「クロスタオル」  
 をプレゼント！

①氏名②住所③性別④年齢⑤連絡先⑥本誌入手場所  
 を明記し、NT事務局までご応募ください。



**表紙写真大募集！**

NTの表紙をあなたが撮った都内の風景写真  
 で飾ってみませんか？写真がお好きな方、  
 腕に覚えがある方、奮ってご応募ください。  
 写真データは、①氏名②住所③連絡先④撮影  
 日⑤写真解説(50字程度)を明記し、CD等  
 に保存するか、電子データでNT事務局まで  
 お送りください。

応募・問合せはNT事務局まで  
 〒169-8540 新宿区大久保1-2-15  
 TEL : 03-5273-6747  
 E-mail : kikaku@tokyo.jrc.or.jp

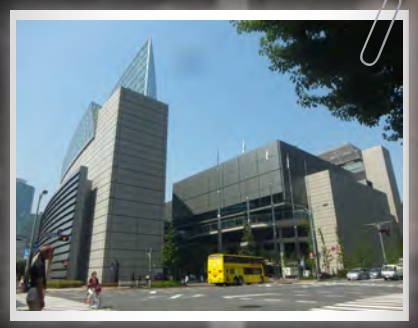
NT Vol.2 2014年7月発行

■発行・編集・デザイン/日本赤十字社東京都支部  
 〒169-8540 新宿区大久保1-2-15 tel:03-5273-6747 (総務部企画課)  
 ※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断複製(コピー)、複製(転載)を禁じます。  
 ※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みますので、  
 その後内容に変更が生じる場合もありますので予めご留意ください。

個人情報取り扱いについて  
 日本赤十字社東京都支部ホームページのプライバシーポリシーをご覧ください。

ホームページ : <http://www.tokyo.jrc.or.jp/>  
 Facebook : <https://www.facebook.com/redcrosstokyo>

NTは、年4回発行(4月・7月・10月・1月)

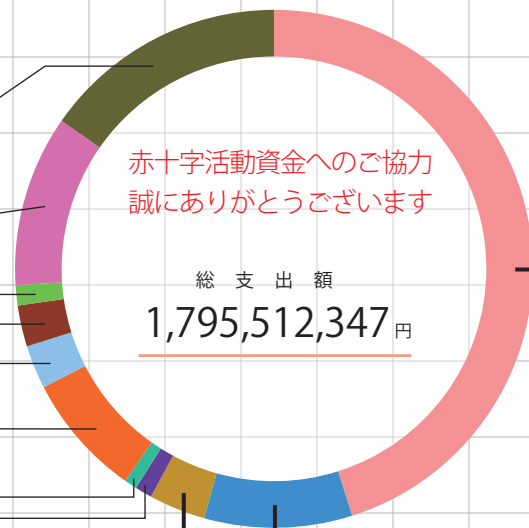


※現在、跡地には東京国際フォーラムがそびえる

日本赤十字社東京都支部旧庁舎  
 昭和2年(1927)～平成3年(1991)  
 写真提供：ほくの近代建築コレクション

詳しくは東京都支部のホームページをご覧ください

事業の種類	割合
活動の運営管理	15.3%
積立金（災害時資金・施設整備）	10.7%
社屋修繕	1.3%
社会福祉施設の運営	2.6%
広報活動	2.7%
社員の加入促進	7.7%
看護師等の養成	0.8%
献血推進	1.1%



救急法等の講習普及 3.5%  
Safety Services

いのちを救う知識と技術を普及する



奉仕団・青少年赤十字 9.2%  
Red Cross volunteers & Junior Red Cross

人のつながりで大きな力を生み出す



赤十字の精神を次世代につなげる



救護・救援活動 45.1%  
Disaster Relief

赤十字の総合力で脅威からいのちを救う

「守りたい」は強い。  
「救いたい」はもっと強い。

大切な人を「守りたい」と思う気持ちは誰もが持っている強い感情です。しかし、大切な人が脅威に晒されたときに生まれる「救いたい」という感情は更に強いものになります。

人のいのちを救う活動の中には感動や笑顔が存在します。しかし、悲しみや絶望を伴うことも少なくありません。そんなとき、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを共有してくださる皆様のご支援が誰かの大切な人のいのちを救う大きな力になります。私たちに託していただいた思いをカタチにするために赤十字はこれからも前進を続けます。

## 支部長就任のご挨拶



日本赤十字社東京都支部  
支部長 舛添 要一

日本赤十字社東京都支部支部長への就任に当たり一言ご挨拶申し上げます。

皆様には、日頃から赤十字事業に深い関心を寄せられ、支部事業の発展にお力添えを賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

日本赤十字社は、「いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、世界各地で発生する自然災害や紛争などで傷つき苦しむ人々に、国際赤十字の一員として連携して救援活動を行っています。

また、国内においては、災害救護をはじめ、救命・応急手当を指導する救急法等講習事業、青少年赤十字事業および医療・血液・社会福祉事業など広範多岐にわたる事業を展開しています。

東京都支部では、本年度から「都民を守り、支える赤十字を目指して」をテーマとする

中期重点事業に取り組んでおります。

具体的には、首都直下地震をはじめとする大規模地震災害に備えるため、地域の減災力向上を支援する取り組みとして、市民や企業を対象とした「赤十字減災セミナー」や児童・生徒を対象とした「災害学習プログラム」をさらに推進するとともに、新たに自主防災組織の活性化を支援する事業として、セミナーの実施や災害救護用資材の整備を行います。東京都支部は、日本赤十字社の使命の達成に向けて職員一同全力を挙げて各事業に取り組んでまいります。

赤十字事業の推進のためには、赤十字社員（会員）ならびに寄付者の皆様、赤十字ボランティアや献血者をはじめ、都民の皆様からのご支援とご協力が必要不可欠となります。

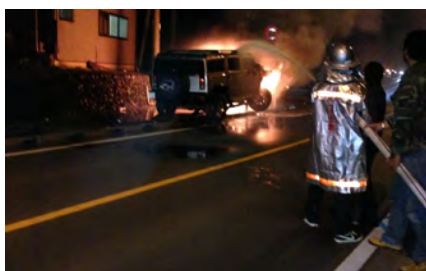
皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

## 血液センター職員が人命救助で表彰

4月12日（土）19時頃、あきる野市乙津で発生した車両火災の初期消火に努めた、東京都赤十字血液センターの乙訓高一（おとくにたかいち）推進課長と近所に住む高校生に、秋川消防署から感謝状が贈呈されました。

### Q 発見当時の状況は？

自宅で大きな音を聞いて外に出たところ、家の前のガードレールにぶつかっている車両を発見しました。パチパチと音を立てて燃えていたため、すぐに119番通報し、隣家に連絡して消火栓に急行しました。



今回の結果は、日頃の訓練で積み重ねた地域住民の高い防災意識や連携力によるところが大きい。



### Q 迅速な消火活動ができた理由は？

消火栓から出火元まで距離がありましたが、近所の方がホース延長や消火栓のノズルを準備してくれたおかげで消火活動がスムーズに行えました。長年、消防団活動をしてきましたが、迅速な行動ができたのは地域住民の方々とのチームワークのおかげです。

### Q 活動を振り返って？

幸いケガ人や付近への延焼拡大もなく、車両だけの被害で済んでよかったです。今後、災害等の発生時に孤立する可能性が高い山間部では「地域力」が重要です。赤十字職員として、また一市民として地域防災の一助となるように取り組んで行きたいです。

## この夏、赤十字ならではのイベントに参加しませんか？



### 世界救急法の日に学ぼう！

赤十字フェスタ inTokyo

気軽に参加できるミニ講習や普段見る機会のない献血した血液の製造・検査の様子を見学できます。無料で講習を受けられるこの機会に是非ご参加ください。

開催日：9月13日(土)

場 所：東京都赤十字血液センター

費 用：無料

お問合せ 日本赤十字社東京都支部  
救護課講習係 03-5273-6746 まで



### 災害に強い家族になる

親子で減災セミナー

災害への備えに関する疑問にお答えしながら、親子で楽しく学ぶことができるプログラムをご用意しています。夏休みの自由研究で減災について考えてみませんか？

開催日：8月23日(土)

場 所：日本赤十字社東京都支部

費 用：1人につき保険料100円

お問合せ 日本赤十字社東京都支部  
救護課講習係 03-5273-6746 まで



### つながるいのちいのちのち

キッズジャンボリー 2014

『献血した血液ってどうなるの?』あなたも白衣を着て、血液センター職員の仕事を体験しよう!献血した血液(ダミー)を検査し、病院に届けるまでを楽しく学べます。

開催日：8月12日(火)~14日(木)

場 所：東京国際フォーラム

費 用：無料(当日整理券を配布)

お問合せ 東京都赤十字血液センター  
企画課 03-5534-7530 まで

## 赤十字活動資金へのご協力方法

東京都支部への資金協力は、様々な方法があります。詳しくは東京都支部ホームページをご覧ください。東京都支部振興課 03-5273-6743 までご連絡ください。

### 1 郵便局・銀行でのご協力

郵便局や銀行に活動資金協力専用口座を開設し、専用の振込用紙をご用意しています。

### 2 インターネットでのご協力

ホームページからクレジットカード決済も可能です。(1回2,000円以上)



### 3 口座振替によるご協力

預金口座振替(自動引き落とし)の利用もできます。(1回2,000円以上)



## 赤十字活動資金へのご協力ありがとうございます。

日本赤十字社東京都支部では、1人でも多くの皆様に赤十字活動へのご理解とご協力をいただくため、「赤十字運動月間」である5月を中心に、都内全域で赤十字社員募集運動を実施しました。JRや私鉄各社の駅頭では、赤十字奉仕団員が活動紹介用のリーフレットを配布し、赤十字活動への

ご理解とご協力を求めるとともに、活動資金へのご協力を呼びかけました。そのほか、戸別訪問による活動資金の募集や区・市役所や公共施設、地域のイベント会場などで赤十字活動紹介を行いました。当支部は、皆様からの活動資金をもとに都民を守り支えるための活動を続けてまいります。

## 活動資金協力者（社）・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。  
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

●千代田区	
鈴木 正司	400万円
水野 正雄	10万円
社団法人 霞会館	300万円
サンフロンティア不動産(株)	100万円
(株)エムエルシー西銀座営業部	55万3,893円
(株)朝日写真ニュース社	30万円
(株)シナジーカンパニージャパン	23万6千円
日本エンゼル(株)	21万2,986円
(株)インフォーム	10万円
宝田無線電機(株)	10万円
(株)日本オーエー研究所	10万円
(株)ネットカムシステムズ	10万円
●中央区	
梶原 幹雄	10万円
(株)ケイ・エス・ジャパン	20万円
●港区	
中江 宏	100万円
ミツワシステムズ(株)	10万円
●新宿区	
出井 弘八	50万円
(株)セノン	30万円
三井住建道路関東支店 道栄会	20万円
(株)ドラマティークスタンダード	12万7,914円
(株)アウローラ	10万円
●文京区	
佐藤 勝彦	20万円
●台東区	
遠藤 隆一	50万円
飯塚 スミ子	10万円
石福ジュエリーパーツ(株)	20万円
中央エレベーター工業(株)	10万円
(税)福田・安斎事務所	10万円
玉姫稲荷神社こんこん靴市実行委員会	10万円
●墨田区	
馬場 賢一	20万円
●江東区	
新田 悦子	30万円
●目黒区	
日野 儀光	100万円
(株)丸十	13万円
(株)昭和イーティング	10万円
●大田区	
池野 公脩	100万円
橋本 養三	20万円
嵯峨電機工業(株)	100万円
蓮光院	100万円
(株)グラス	10万円

●世田谷区	
小嶋 淑子	100万円
谷村 将光	100万円
筧 千づる	30万円
池松 久夫	20万円
藤森 博昭	20万円
小林 賢治	10万円
●渋谷区	
(有)外川ヒル	50万円
国際空手道連盟 極真会館	10万円
(株)パルコススペースシステムズ	10万円
L i N K - U P (株)	10万円
●中野区	
T C C 日本語学校	10万円
●杉並区	
外川 八重子	50万円
金澤 昭子	30万円
(株)システム総合研究所	25万円
●北区	
入澤 隆	50万円
金子 二四男	10万円
第一化学工業(株)	10万円
(有)わか駒	10万円
●荒川区	
益子 賢一	200万円
匿名希望	50万円
匿名希望	10万円
●板橋区	
瀬戸川 睦人	100万円
山口 治雄	100万円
●練馬区	
横山 浩之	100万円
安藤 幸子	10万円
瀬尾 幸子	10万円
(株)フクシン	10万円
●足立区	
小倉 伸一	50万円
梶 富美子	30万円
清水 延晏	20万円
鈴木 勇	20万円
佐々木 継男	10万円
(株)イーストアイ	10万円
●葛飾区	
石川 良夫	150万円
月村 泰之	10万円
石川生コン(株)	30万円
(株)衛生微生物研究センター	10万円

活動資金協力に関するお問合せは  
東京都支部 振興課 03-5273-6743 まで

●江戸川区	
吉野 茂男	30万円
関東商事(株)	10万円
(株)水域ネットワーク	10万円
●八王子市	
高田 佳子	50万円
高津戸 道夫	20万円
(有)高尾パークハウジング	50万円
●立川市	
荒井 三代子	10万円
金子 利津子	10万円
中村 智英子	10万円
中村 陽子	10万円
鳴島 幸枝	10万円
中村建設(株)	100万円
●三鷹市	
志賀興業(株)	20万円
●青梅市	
浜中 教孝	20万円
●昭島市	
小山 善治	15万円
三浦 寛子	10万円
●調布市	
鴨下 尚子	20万1,000円
天沼 敏之	20万円
●町田市	
近藤 徳彌	100万円
●国立市	
若松 ふじ江	100万円
●神奈川県	
安徳 肇	10万円

(敬称略・順不同)

# あなたの大切なひとに もしものことがあったら…

プールや海でのレジャーが楽しい季節がやってきました！  
今回は、東京都支部で開催されている4つの講習から「水上安全法」をご紹介します。  
他の講習についても順次紹介していきます。

いのちを救う  
赤十字の

講習



## 水上安全法

水上安全法は、水の事故防止と自己保全、溺れた人の救助の仕方や応急手当を学ぶ「救助員Ⅰ養成講習」、さらに、海、河川、湖沼での事故防止や救助の仕方、応急手当について学ぶ「救助員Ⅱ養成講習」の段階的な2つのプログラムで構成されています。満15歳以上の一定の泳力のある方であれば、どなたでも受講いただくことができます。

プールで  
救助技術を  
学ぼう！

救助員Ⅰ  
養成講習

受講対象：満15歳以上の一定の泳力のある方

内容：学科・実技（泳ぎの基本、溺者救助、応急手当等）

※救助員Ⅱ養成講習（海での講習）は、救助員Ⅰの有資格者が対象です。



他にも以下の講習を実施しています。

講習日程のご確認・お申し込みは下記まで

<http://www.tokyo.jrc.or.jp>

東京都支部 救護課 講習係：03-5273-6746



### 救急法

心臓マッサージや人工呼吸、AED  
を使った救命手当と、急病やけがの  
応急手当について学びます。



### 幼児安全法

こどもに起こりやすい事故の予防と  
けがの手当、かかりやすい病気の対  
応などについて学びます。



### 健康生活支援講習

自身が高齢期を健やかに迎えるための  
知識・技術や地域の高齢者との接し方、  
高齢の家族の介護について学びます。



電子講習室を開設しました！

「講習の内容を事前に知りたい」、「検定前  
に復習がしたい」といった声にお応えし  
て、便利な「電子講習室」を東京都支部ホー  
ムページ内に開設しました。

WEB CROSS

<http://www.tokyo.jrc.or.jp/application/webcross/>

特集  
赤十字奉仕団の足跡を訪ねて

明治20年5月 篤志看護婦人会創設

昭和20年8月 太平洋戦争終結  
篤志看護婦人会解散

昭和21年12月 南海地震発生

昭和22年5月 本社から「赤十字会」設立手引書を各支部へ配布  
横須賀に赤十字会設置

6月 大田区雪谷に「雪ヶ谷赤十字会」設置(※関連記事12ページ)

10月 災害救助法が制定  
赤十字社は災害時に都道府県知事に協力することが明文文化される

昭和23年2月 本社で「奉仕団結成のための懇談会」開催(※関連記事下段)  
3月 東京都支部で「奉仕団結成(地区)委員長会議」開催

昭和24年4月 「東京学生奉仕団」結成

昭和28年 全国の奉仕団員が5百万人を超える

昭和31年10月 本社が「赤十字奉仕団規則」を制定し  
「地域奉仕団」と「特別奉仕団」に区分する

昭和38年1月 「特別奉仕団」を「特殊奉仕団」と「青年奉仕団」に区分する

昭和40年



年代不明：芸能奉仕団



S40頃：防犯パトロール



S35：災害救護訓練

全国で奉仕団の設置が進む

《平成26年4月時点の地域奉仕団がある区市町村》

中央区	港区	新宿区	文京区
台東区	墨田区	品川区	目黒区
大田区	世田谷区	渋谷区	中野区
杉並区	北区	荒川区	練馬区
足立区	葛飾区	江戸川区	八王子市
立川市	武蔵野市	三鷹市	府中市
昭島市	調布市	町田市	小金井市
日野市	国分寺市	国立市	西東京市
狛江市	東久留米市	多摩市	稲城市
あきる野市	大島町	八丈町	



S26：炊出し活動



S23：米赤寄贈品の運搬



S21：南海地震義援金募集

参考文献：日本赤十字社史稿  
日本赤十字社東京支部百年史  
歴史探訪日本赤十字社の創立  
協力：赤毛のアン記念館・村岡花子文庫

TVドラマ放送中



村岡花子さんがモデルの連続テレビ小説「花子とアン」(月～土 午前8時～NHK総合他)が放送中。吉高由里子さんが、激動の時代を夢を持って生きる村岡花子役を演じています。

の設立に向けた動きの中で開催された「奉仕団結成のための懇談会」に、各界の婦人代表22人の内の1人として参加していただいています。赤十字奉仕団の設立にはCEOおよび米国赤十字社の強い協力がありました。当時すでに外国文学の翻訳者として知られていた村岡さんは、堪能な英語能力と学生生活で培われた社会福祉への造詣から期待されたようです。

その後5年で全国に5百万人を超える赤十字ボランティアが誕生し、戦後の再建期を支え、今日に続く日赤の礎を築いてくださいました。

村岡さんにはその後もご協力いただいております。昭和30年代には本社嘱託として、赤十字奉仕団の指導者を養成するための講演や寄稿などをしていただきました。

赤十字奉仕団の黎明期を支えた村岡さん



村岡花子  
(むらおかはなこ)

明治26年6月21日、山梨県甲府市に生まれる。

10歳からキリスト教系の東洋英和女学校で学び、同校建学の「敬神奉仕」の精神とともに多感な時期を過ごした。

戦後発表した「赤毛のアン」の翻訳者として知られ、昭和30年代には日本赤十字社の嘱託として講演活動などを行った。

写真提供：赤毛のアン記念館・村岡花子文庫



## 活躍の場を広げている赤十字奉仕団

### 特殊赤十字奉仕団

奉仕団数：17 (864人)



東京指圧救護赤十字奉仕団



東京都ビューティケア赤十字奉仕団



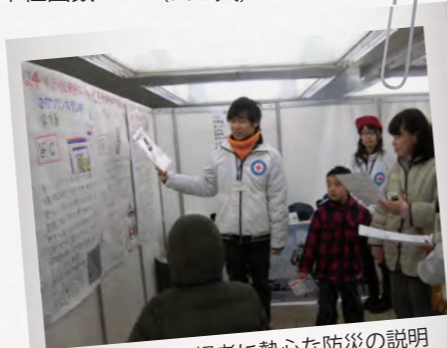
東京都ノルディックウォーキング赤十字奉仕団

#### その他 東京都内で活動する特殊奉仕団一覧

東京安全赤十字奉仕団	町田市点訳赤十字奉仕団	全日本航空労働組合客乗支部 (JALFIO) 赤十字奉仕団
東京裁縫赤十字奉仕団	東京都看護赤十字奉仕団	東京都青少年赤十字賛助奉仕団
東京都特殊救護赤十字奉仕団	ハンドケア・ビューティケア赤十字奉仕団	東京都 J H S A 赤十字奉仕団
三鷹市特殊赤十字奉仕団	グループ耀芸能赤十字奉仕団	朗読赤十字奉仕団
視覚障害者援護赤十字奉仕団	大田区訪問介護赤十字奉仕団	

### 青年学生赤十字奉仕団

奉仕団数：14 (982人)



イベント来場者に熱心な防災の説明



海外たすけあい運動月間の街頭募金活動



病院イベントでの物販ボランティア

### 地域赤十字奉仕団

奉仕団数：39 (21,315人)



イベントでの炊出し活動



街頭での活動資金募集活動



駅での献血者募集活動



子どもたちへ赤十字思想を普及



JRCメンバーが使用する黄色いスカーフを製作

平成13年  
平成3年10月

ボランティア国際年

今日も多くの赤十字奉仕団が様々な場面で活躍し、赤十字の事業を支えています

本社の「赤十字奉仕団検討委員会」から答申が出される  
登録制度の改善、研修制度強化、変化する社会情勢への柔軟な対応策などを提言

### 豆知識

#### 「赤十字奉仕団員の信条」の由来

日本赤十字社の創始者、佐野常民の子息の佐野常羽(さのつねは)は55歳の時に「ボーイスカウト日本連盟」(当時、少年団日本連盟)の創設に関わりました。佐野常羽は指導者を養成する心得として「清規三事(じんぎんさんじ)」と称して、三つのことば「実践躬行(じっせんこうぎょう)」「精究教理(せいきゅうきょうり)」「道心堅固(みちこころじんこ)」を残しています。

佐野常羽から指導を受けたボーイスカウトの指導者だった2代目本社奉仕団課長の古田誠一郎は、昭和31年に「赤十字奉仕団規則」を制定するとき「赤十字奉仕団員の信条」にこの言葉をいただいて、「実践躬行」を「すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となつて人びとに奉仕する。」に、「精究教理」を「常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。」に、「道心堅固」を「身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和に尽くす。」としたと言われています。

(参考：佐藤雅紀著「歴史探訪 日本赤十字社の創立」)

### 都内赤十字奉仕団のルーツを訪ねて



大田区赤十字奉仕団雪谷地区連合分団委員長 永久保 孝治(ながくぼ たかはる)

大田区雪谷地区自治会連合会会長の他、大田区内の保護司会副会長や、社会福祉協議会理事などを歴任し、地域連携強化に尽力されている。

雪谷分団が都内初の赤十字奉仕団体をルーツに持つとは知りませんでした。ただ、この地域は以前からお住まいの方が多く一方で新しい方も増えています。これは昔ながらの住民同士の深い繋がりがからくる住みやすさが大きな理由の一つではないかと。そうした絆が以前から深い土地柄から、人を助けるといふ赤十字の精神に早くから共感し、組織化の動きがあったとすれば頷けます。また、同じ時期に村岡花子さんという、社会福祉に造詣が深く、強い気持ちと行動力のある女性が近くにいたということも、そうした雰囲気醸成する一助になったのかもしれない。

村岡花子さんが過ごした大森に近い雪谷に、都内初の赤十字会は結成されました。その「雪ヶ谷赤十字会」をルーツに持つ、大田区赤十字奉仕団雪谷分団の永久保委員長にお話を伺いました。



地域における医療連携の重要性

# 日本人に多い脳卒中の正しい理解について



医療フォーラムで熱く語りかける鎌田医師

脳卒中治療に必要な医療連携

脳卒中という言葉は「卒中風」に由来する言葉であり「卒に風に中る（にわか風に吹かれる）」と読みます。「風」は病の原因となる「気」のひとつであり、それに「あたる」ことから病気になったと考えられ、このように呼ばれるようになった。

さて、脳卒中が起こると近くの救急病院に救急車で運ばれ、点滴や内服治療、場合により手術を受けます。その後は集中的なりハビリに専念し、自宅に戻ると再発予防（生活習慣病の管理）のため、かかりつけの診療所で治療をうけます。このように、時期により必要な治療内容が異なるため役割の違う医療機関で治療をうける必要があります。それも生活圏内で完結するために地域における医療連携が大変重要なのです。



パネリストの講演に多くの聴衆が耳を傾けました

脳卒中による死亡が増加中

脳卒中は大きく分けて、動脈からの出血によるもの（脳内出血、くも膜下出血）と、動脈が詰まって起こるもの（脳梗塞）があります。戦後、高血圧治療の普及に伴い脳卒中による死亡率は減少しましたが、最近また増えていきます。高齢者の増加、生活習慣病の拡大がその原因と考えられ、現在は死因の4位ですが3位に上がる勢いです。さらに、寝たきり（要介護5）原因では1位です。

脳卒中になった後の人生はどうなるのでしょうか？脳卒中の実測5年生存率は約60%で胃がんと大差ありません。その一方で、約25%は自宅復帰も叶いません。仮に自宅へ帰れた場合も、さまざまな後遺症とともに残りの人生を生きていくこととなります。

「FAST」キャンペーン

脳卒中の症状は、半身の運動麻痺や感覚の異常、しびれ、呂律が回らない、突然の視力の異常、回転性めまい、頭痛、意識障害です。これらの症状が一過性に出現し、すぐに消失することがありますが、これは脳梗塞の前兆である可能性があります。これが起きたら、人生の瀬戸際にいると思っ

て早く病院に向かって下さい。FASTキャンペーンというものもあります。Face（顔）、Arm（手・腕）、Speech（会話）、Time（時間勝負！）の頭文字で、症状がみられたら躊躇せず迅速やかに病院へとというメッセージです。脳卒中の症状に気づいたら、救急車を呼んで速やかに病院へ向かって下さい。



**鎌田 智幸** Tomoyuki Kamata  
 神経内科部長  
 日本内科学会認定内科医  
 日本神経学会専門医  
 日本神経学会指導医  
 日本脳卒中学会専門医  
 日本認知症学会専門医・指導医  
 東京都身体障害者福祉法第15条指定医  
 東京医科歯科大学医学部臨床教授

※本稿は武蔵野医療連携医療フォーラムの同講演より抜粋したものです。

**日本赤十字社 武蔵野赤十字病院**  
 Japanese Red Cross Society

- 所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1
- 連絡先 Tel 0422-32-3111(代表) Fax 0422-32-3525
- 休診日 土曜、日曜、祝日、5月1日(日赤創立記念日)、年末年始
- 病床数 611床 (一般540床・ICU8床・HCU22床・CCU6床・SCU9床・NICU6床・感染症20床)

JR 中央線武蔵境駅南口下車徒歩 10分  
 ムーバス(境南東循環) 5分 100円





超高齢化社会に応じたあるべき医療の追及

# 充実した急性期リハビリテーション

高齢者医療の包括的なサポート

日本は65歳以上が24%という超高齢化社会を迎えました。75歳以上の後期高齢者の疾患保有率が50%を越え、障害保有率は30%を越えるという時代に、急性期病院に求められるのは疾患や病態にとどまらず、身体的・精神的・社会的な側面から患者さんを包括的にとらえてサポートすることです。

リハビリテーション科では脳梗塞や脳出血、骨折などにとどまらず、肺疾患や心筋梗塞、外科手術前後など多岐にわたる患者さんを対象としています。

## チームアプローチ「365日リハビリテーション」

平成24年度よりリハビリスタッフを増員し、「365日リハビリテーション」の提供に向けて取り組んでいます。



リハビリスタッフを病棟専従配置とし、医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士など多職種が参加するカンファレンスを導入し、密な情報共有と検討を行い、チーム医療推進を行っています。

早期離床・寝食清潔排泄分離の推進

入院治療中に安静な状態を続けることで、全体的な身体機能が低下してしまいます。当院は疾患特性に応じたリハビリテーションと同時に、廃用症候群※の予防に多職種で取り組んでいます。

発症・入院即日から早期リハビリ・早期離床（早期から座位や歩行を行うこと）を行い、寝食清潔排泄分離（食事や排泄などはベッド上で行わない）につなげています。

※筋肉を使わないことにより筋力低下や関節拘縮を起こすこと



栄養サポートカンファレンスでは、患者さん一人ひとりに合わせたリハビリを検討しています

患者さんに合わせた嚥下プロジェクトチーム発足

食事は単に栄養を摂取することだけでなく、楽しみの一つです。しかし、誤嚥誤って食べ物が気管に入ることによる肺炎や窒息は大変な合併症です。当院は医師・看護師・言語聴覚士・栄養士がチームとなり、咀嚼してから飲み込むまでの一連の流れ（摂食・嚥下）を見直し、嚥下食の調整や嚥下造影検査を導入するなど、多職種で摂食・嚥下に関わっています。

“家族を入院させるならここ”  
と思える病院

これらの取り組みの結果、脳梗塞後の誤嚥性肺炎がほとんどなくなり、寝たきりとなる患者さんがなくなりました。また、大腿骨頸部骨折の患者を寝たきりにしないことによる歩行機能改善や、入浴動作・家事動作評価を行うことで、安全に自宅で生活できるようにサポートすることが可能となりました。

医療スタッフ・患者側双方にとってリハビリテーションは欠かせないものとなっております。当院のスタッフも「家族を入院させるならここ」と自信を持って言える病院になりました。



廃用症候群の予防のため、ICUに入室している時から早期リハビリを行います

**日本赤十字社** 大森赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

- 所在地 〒143-8527 東京都大田区中央 4-30-1
- 連絡先 Tel 03-3775-3111(代表) Fax 03-3776-0004
- 休日診 土曜、日曜、祝日、年末年始
- 病床数 344床(一般338床、ICU・CCU6床)





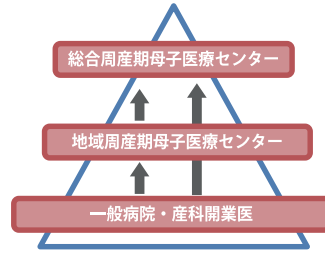
地域周産期母子医療センターとして

# 安心して出産できる地域作りに貢献

地域の母子に  
 高度で専門的な医療を

葛飾赤十字産院は、出産前後の母体・胎児や新生児に対する高度で専門的な医療に対応できる施設として、平成9年10月に東京都に認可された「地域周産期母子医療センター」です。

平成25年10月1日時点で、東京都の周産期母子医療センターは全部で25施設あり、これらの病院は、地域の一般病院・産科開業医では処置が難しいハイリスクな患者さんを受け入れることで、母子ともに安心して医療を受けられる環境づくりに取り組んでいます。



24時間受け入れ可能な  
 医療体制

当院では、お産時の緊急対応として、分娩室に隣接した手術室で、24時間手術ができる環境を整えている他、同じく隣接した新生児処置室では、必要に応じて専門医がすぐに治療を行うことができます。

また、小さく生まれた赤ちゃんなど、さまざまな要因で集中的な治療を必要とする赤ちゃんが入院する「NICU（新生児特定集中治療室）」も整備されています。NICUの部屋は、細菌などの感染を予防するために厳重に管理され、赤ちゃんはひとりずつ保育器の中で治療を受けま

す。

NICUのある病院は限られているので、周辺の医療施設から多くの赤ちゃんが救急車で搬送されてきます。



手術室では帝王切開などの手術を行います

ハイリスクな患者さんは  
 増加しています

ハイリスク妊娠・分娩やハイリスク新生児の指標の一例となる2500g未満で産まれてくる「低出生体重児」の数と

割合は、近年増加傾向にあります（左表）。

（表）東京都における  
 低出生体重児の出生割合

年	割合
H4	6.9%
H9	7.9%
H14	9.2%
H19	9.4%
H24	9.3%

出典：厚生労働省 人口動態統計

低出生体重児が生まれる要因は、妊娠高血圧症候群などの母体側の要因や、先天異常などの子ども側の要因など様々です。また、若年や高齢の妊婦や、妊娠中の喫煙本数が多い妊婦の場合、低出生体重児を出産する可能性が高くなることを、厚生労働省は示唆しています。

当院は、今後ともハイリスクな患者さんの搬送を積極的に受け入れ、より専門的な医療を行う大学病院や総合周産期母子医療センターと密接な連携を図りながら、母体・新生児の緊急医療を担っていきます。



赤ちゃんの集中治療を行うNICU

## 日本赤十字社 葛飾赤十字産院 Japanese Red Cross Society

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石 5-11-12
- 連絡先 Tel 03-3693-5211(代表) Fax 03-3694-8725
- 休診日 日曜、祝日、年末年始
- 病床数 113床(産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

京成押上線「京成立石駅」  
 徒歩約10分

京成本線「お花茶屋駅」  
 徒歩約15分

京成上野線&京成押上線「青砥駅」  
 徒歩約15分  
 京成バス 葛飾区役所経由新小岩行き  
 「葛飾区役所前」下車





# 可能性をデザインする授業

赤十字 × 多摩美術大学 P/B/L



**平**

成23年度から東京都赤十字血液センターと多摩美術大学が共同で実施している「産学共同によるPBL」が今年度で4年目を迎えました。PBL (Project Based Learning)とは、現在各教育機関で注目されている研究を授業として推進していく新しいタイプの授業です。

多摩美術大学では平成18年度よりPBL科目を正規のカリキュラムとして開講し、プロジェクトに参加しながら学ぶ実践型・参加型の教育を推進しており、当PBLは、全学科、全学年が履修可能な新しい授業形態として学生からの関心度も高く、開始から今年度までに約200人の学生が履修しています。

昨年度にはその取り組みが評価され、「2013年度グッドデザイン賞」を受賞しました。赤十字の人道支援・献血思想普及活動等を学びながら、広く社会に啓発し、社会貢献を促すデザインやアートの可能性を見出すべく、今年度も多くの学生が熱心に取り組んでいます。研究名は「日常でいのちの意味を問うプロジェクト」。学生主体のディスカッ

ションを中心とした授業を展開しています。

授業は概ね半年間のスパンで行われ、その間に制作された作品やアイデアは、過去3年間で計35案に上ります。そのうち初年度と次年度の作品から7つの案が採用され、東京都内における献血会場等で使用されました。そして、国内最大級のデザインイベントである、東京デザインナーズウィーク(年1回、10月〜11月に、東京明治神宮外苑にて開催)に作品を出展し、本プロジェクトを対外的にアピールするとともに、作品を通じた人道活動の普及啓発を行っています。



貨物用コンテナを再利用した展示ブース

日本の輸血用血液を全て献血で確保することが閣議決定されて今年で50年。積極的に新しい観点を取り入れ、献血の可能性を拡げていきます。

## MADE BY STUDENTS アイデアの一例をご紹介します！



学内献血が実施されるまでの時間を砂時計で表現するバス停を作成。献血バスを停車する場所に前もって設置することで、献血協力への意識向上効果も。



献血をするともらえる小さな野菜栽培キット。収穫できる時期と次回の献血が可能となる時期がほぼ重なるというアイデアが新しい。



温かみのあるデザインは、持っている人が街を歩くだけで他の人の目を引き、自然と献血のPRを行うことができる。また、再利用してもらえるよう材質にも配慮している。



# まいせん 大森～馬池洗

文士のいぶきを  
現代に伝える  
大田区立  
郷土博物館

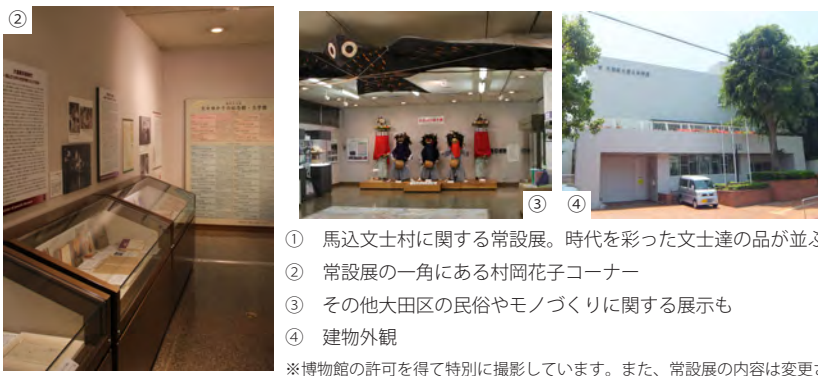
Folk Museum Ota City

都営地下鉄浅草線の西馬込駅を降り、住宅街の坂道を登っていくとあらわれるのが「大田区立郷土博物館」。

大森貝塚に代表されるように遺跡が多いことで知られる大田区の歴史に関わる各種資料がこの博物館に収められている。3階には、『馬込文士村』と後に呼ばれるようになった、馬込の土地に親しんだ多くの文人や画家の資料を見ることが出来る。

馬込に多くの文士が集まってきたのは大正、昭和初期。馬込界隈に住んでいた文士は、ざっとあげてみるだけでも、尾崎士郎と宇野千代、萩原朔太郎、川端康成、北原白秋など多士済済です。その中には今号で特集した村岡花子の名前もあり、これら文士の息吹を感じることが出来る自筆原稿や遺品などが常設展示されている。

今年の9月には馬込文士村の特別展も予定。ゆっくりと館内を眺めながら、文学の世界を感じてみるのはいかがでしょうか。



① 馬込文士村に関する常設展。時代を彩った文士達の品が並ぶ  
② 常設展の一角にある村岡花子コーナー  
③ その他大田区の民俗やモノづくりに関する展示も  
④ 建物外観

※博物館の許可を得て特別に撮影しています。また、常設展の内容は変更されることがあります。

大田区立郷土博物館

〒143-0025 大田区南馬込 5-11-13 03-3770-1070

開館時間 午前9時00分～午後5時  
休館日 毎週月曜日、年末年始、臨時休館あり  
アクセス 都営地下鉄浅草線西馬込駅から徒歩7分  
京浜東北線大森駅から「荏原町駅入口」行きバス11分  
万福寺前停留所下車徒歩2分

入場 無料

山王草堂記念館（大田区山王 1-41-21）

## 「文学散歩」

京浜東北線の大森駅西口を出ると正面に鬱蒼と茂る森が目に入る。その入口には、この地域で活躍した文士たちのレリーフが飾られ、その脇には「馬込文士村 散策の道」との看板がある。大正末から昭和初期を中心に戦前の頃まで、多くの小説家や画家などがこの地域に住んでいたことから『馬込文士村』と呼ばれていた。

この界隈では今も残る旧宅や解説版等を巡り往時に思いを馳せるツアーなども開催されているが、散策にあたって注意したいのは坂道が多いこと。非常に入り組んだ地形のため昔から「九十九谷」と呼ばれるほどで、「闇（くらやみ）坂」に「白田坂」、「燈（あぶみ）坂」や「汐見坂」など名のある坂から名なき坂まで多種多様である。

こうした坂道まで含めてこの馬池洗（まいせん）池上・洗足地域の総称）は、緑や水、史跡が多い散策に格好のエリアと言えるだろう。ただし、夏のこの時期は熱中症対策を十分に。



大森駅そばの文士村レリーフ

多くの文士が住んでいたことを改めて感じる。今号で取り上げた村岡花子さんもこの中に。見つけられるだろうか。



住宅街の中の文士の解説版

歩いていると本当に突然現れることに驚くが、それほど地域に根付いているということだろう。



まさに“九十九谷”

この地域は武蔵野台地の東端にあたるため、幹線道路から生活道路に至るまで様々な坂道がある。



池上本門寺に最も近い東急池上線の池上駅。3両編成の電車が停車する駅は都会にありながらもどこかローカル線の雰囲気醸し出している。

ただし、池上駅はターミナル駅の五反田駅・蒲田駅を除くと最も昇降客数が多い駅。東急池上線（その前身の池上電気鉄道）が、最初は池上本門寺への参拝者のために開業したことを思えばそれも納得だ。

駅から延びる参道を10分ほど歩くと見えてくるのが、安藤広重の江戸百景にも描かれた



上：戦後再建された大堂

左：此経難持坂（しきょうなんじざか）。加藤清正公が寄進した96段の石段。名称は『妙法蓮華経』見宝塔品第十一、此経難持の偈文96字にちなんでいる



右：日蓮聖人像。近くには関東大震災で亡くなった方の供養碑も

## 池上本門寺

Ikegami honmonji temple

た「総門」、そしてその先には96段の此経難持坂（しきょうなんじざか）が。歩きなれているであろう地元の方の背中を追いながら上り詰めると、仁王門の先に「大堂」が見えてくる。

日蓮宗の宗祖である日蓮聖人が入滅された（お亡くなりになった）この土地に池上本門寺が建てられたのは鎌倉時代。そんな歴史ある境内には参拝者だけでなく散歩やジョギングをする人も見られ、一般客向けのイベントやコンサートも開催されること。五重塔や梅園などの見どころも多くあり、7百年以上にわたり地域の中心にあり続けている。

大田区池上 1-1-1 03-3752-2331

開館時間 午前5時30分～午後5時（回向は午前10時～午後3時）  
休館日 無休  
アクセス 都営地下鉄浅草線西馬込駅から徒歩12分  
東急池上線池上駅から徒歩10分

入場 無料



**NISSEKI SHINKOKAI**

# 日赤振興会の事業のご案内

日赤振興会は、「安心と信頼のパートナー」として、日本赤十字社の事業に関する様々な保険を取り扱っています。ボランティア活動中や、各種講座の受講中のケガなども対象になりますので、詳しくは下記までお問合せください。

今後とも安定した事業運営のもと一層のサービスの充実に努め、赤十字に関わる皆様に安心をお届けいたします。

## 赤十字ボランティア保険

日本赤十字ボランティア（赤十字奉仕団員・JRCメンバー、防災ボランティア等）と青少年赤十字等指導者の事故を対象とする保険



## セーフティプログラム補償制度

日本赤十字社の本社及び各都道府県支部が開催する救急法等の講習会（資格継続研修を含む）における受講者等の事故を補償する保険



**NISSEKI SHINKOKAI**

# 日赤振興会

## お問い合わせ

TEL : 03-3437-7519

FAX : 03-3437-2900

<http://www.rc-sup.co.jp>

